

【地域避難計画】

各町会・自治会の代表者様と年3回～4回のワークショップを開催し、近年の災害の特性や防災情報等を学んでいただき、町会・自治会が災害に備えるために必要な知識を得る機会を設けます。また、地域の特性を把握するため、まち歩きを行いそれぞれの中学校区オリジナルの地図を作成します。

【地域タイムラインについて】

台風等の影響による大雨によって引き起こされる「洪水」や「土砂災害」の場合、気象情報からあらかじめ台風最接近(雨が強く降るとき)の時間を予測することができます。

しかし、いざという時に、いつ、誰が、何をするのかを分かっているなければ、全く意味がありません。

そこで、「個人」と「コミュニティ」が災害発生数日前から、災害発生まで、何をしなければいけないのか？を分かりやすくするために時系列に表します。

「いつ」「誰が」「何をするのか」を時系列に整理したものが「地域タイムライン」です。

令和6年度 作成数

【地域避難計画・地域タイムライン】

2中学校区 計34町会・自治会

配布数：約9,000世帯



地域避難計画



地域タイムライン